

平成29年度
「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
総 会

日 時:平成30年3月29日(木)13:00~14:25

会 場:愛媛大学城北キャンパス

総合情報メディアセンターメディアホール

主 催:四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)

平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会次第

日 時： 平成30年3月29日（木） 13:00～14:25

場 所： 愛媛大学城北キャンパス 総合情報メディアセンター1階 メディアホール

開 会

会長挨拶 大橋 裕一 学長（愛媛大学）

【議 題】

1. 平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について
2. 平成29年度事業収支及び会計監査について
 - (1) 平成29年度事業収支について
 - (2) 平成29年度会計監査について
3. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約」の一部改正について
4. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」への新規加盟について
5. 共同事業契約の終了及び再締結について
6. 役員の改選について
7. 平成30年度事業計画について
8. 平成30年度事業予算及び平成30年度共同事業契約における役割分担等について
 - (1) 平成30年度事業予算について
 - (2) 平成30年度共同事業契約における役割分担等について
9. その他
 - (1) 役員の改選について（平成29年10月1日付け）
 - (2) 平成29年度各加盟校のFD/SD活動の取組報告について
10. 意見交換

閉 会

平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会資料一覧

資料1	平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について	P. 1
資料2-1	平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業収支報告書(案)	P. 19
資料2-2	平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費支出内訳(案)	P. 21
資料3	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約(一部改正案)	P. 25
資料4-1	四国地区大学教職員能力開発ネットワークへの加盟について(岡山理科大学獣医学部申請書)	P. 29
資料4-2	四国地区大学教職員能力開発ネットワークへの加盟について(人間環境大学松山看護学部申請書)	P. 31
資料4-3	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 別表第1(第4条関係)の変更について	P. 33
資料5-1	共同事業契約の終了及び再締結の合意について(案)	P. 35
資料5-2	共同事業契約書(案)	P. 37
資料6-1	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」の役員改選について(案)	P. 45
資料6-2	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿(平成30年4月1日現在)(案)	P. 47
資料7	平成30年度SPOD事業計画(案)	P. 49
資料8-1	平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算(案)	P. 51
資料8-2	平成30年度共同事業契約における役割分担等について(案)	P. 55
資料9-1	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」臨時総会(紙上)議事概要	P. 59
資料9-2	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿(平成29年10月1日現在)	P. 61
資料10	各加盟校におけるFD/SD活動の取組報告	P. 63
参考資料1	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査実施要領 ※議題2参考資料	P. 65
参考資料2	共同事業契約書 ※議題5及び議題8参考資料	P. 67
参考資料3	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 ※議題3及び議題8参考資料	P. 77



平成 29 年度 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク 事業総括

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会
平成30年3月29日

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

企画・実施統括者 小林 直人

(愛媛大学学長特別補佐／教育・学生支援機構 教育企画室長)

内 容

1. SPOD事業の概要
2. SPODの運営体制
3. 平成29年度事業の総括
 - (1) 事業計画
 - (2) 各事業の取組の成果
 - (3) 事業評価
 - (4) 総括

1. SPOD事業の概要

SPODは、四国地区の高等教育機関が連携してネットワーク事業を展開することにより、域内のFD／SD事業の効率化、高度化、実質化を行うとともに、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出し、教育の質の保証を図ることを目的に平成20年10月に設立

- ・四国地区の高等教育機関32校が加盟
- ・地域ネットワークとして、FD・SD大学間連携のモデル
- ・平成23年度から自主運営体制により事業を継続
- ・加盟校の教職員延べ2,000名以上（約3割）がSPODプログラムに参加（※平成29年度実績）

3

2. SPODの運営体制

SPOD役員名簿

（平成29年10月1日現在）

会 長	大橋 裕一	愛媛大学長
副会長	野地 澄晴	徳島大学長
副会長	筧 善行	香川大学長
副会長	脇口 宏	高知大学長
監 事	桐野 豊	徳島文理大学・ 徳島文理短期大学部学長
監 事	濱中 俊一	高知工業高等専門学校長
企画・実施統括者	小林 直人	
	愛媛大学学長特別補佐	教育・学生支援機構 教育企画室長

4

SPOD加盟校

【愛媛】12校

- (大学⑤)
愛媛大学(国), 愛媛県立医療技術大学(公),
聖カタリナ大学(私), 松山大学(私), 松山東雲女子大学(私)
- (短期大学⑤)
今治明德短期大学(私), 環太平洋大学短期大学部(私)
松山東雲短期大学(私), 松山短期大学(私),
聖カタリナ大学短期大学部(私)
- (高等専門学校②)
新居浜工業高等専門学校(国), 弓削商船高等専門学校(国)

【香川】6校

- (大学③)
香川大学(国), 香川県立保健医療大学(公)
高松大学(私)
※徳島文理大学香川キャンパス
- (短期大学②)
香川短期大学(私), 高松短期大学(私)
- (高等専門学校①)
香川高等専門学校(国)

32校（四国地区の高等教育機関）が加盟

大学15, 短期大学12, 高等専門学校5 (平成29年4月現在)

【高知】6校

- (大学③)
高知大学(国), 高知県立大学(公),
高知工科大学(公)
- (短期大学②)
高知短期大学(公)
高知学園短期大学(私)
- (高等専門学校①)
高知工業高等専門学校(国)

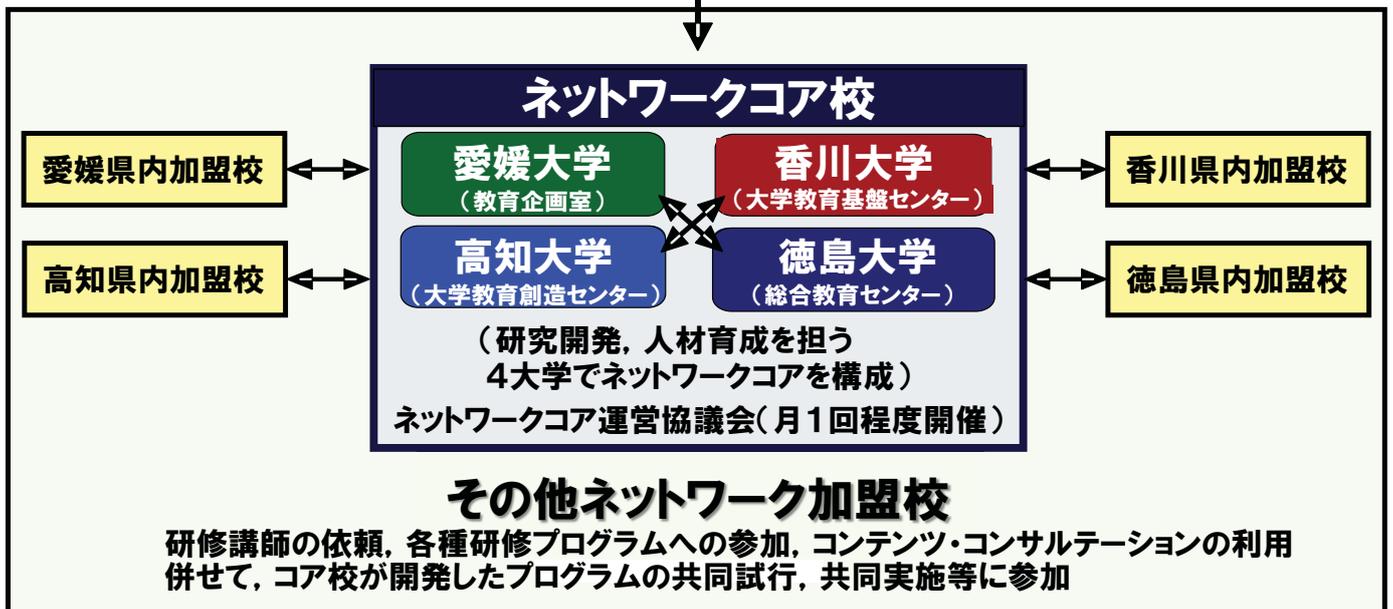
【徳島】8校

- (大学④)
徳島大学(国), 鳴門教育大学(国),
四国大学(私), 徳島文理大学(私)
- (短期大学③)
四国大学短期大学部(私), 徳島工業短期大学(私),
徳島文理大学短期大学部(私)
- (高等専門学校①)
阿南工業高等専門学校(国)

5

ネットワーク運営体制

成果の情報発信・連携
学会や全国他地区のFD・SDネットワーク等

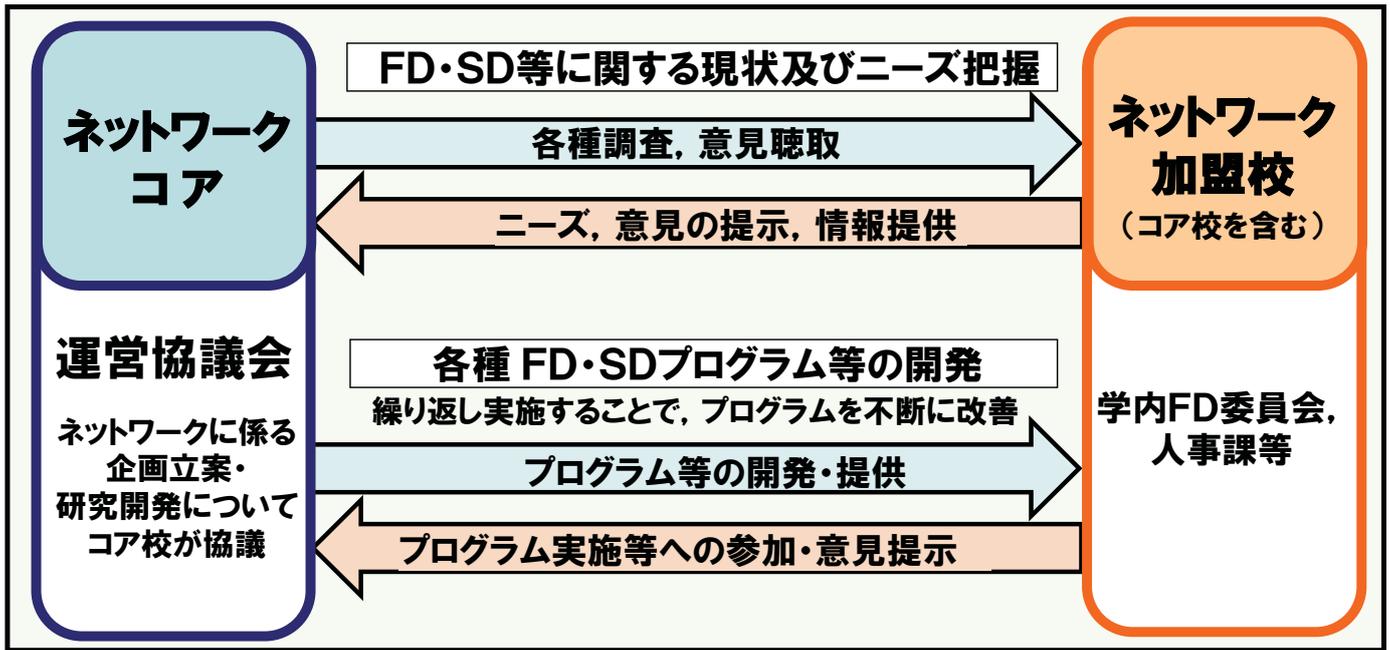


【四国地区大学教職員能力開発ネットワーク】

6

【 連携内容 】

① ネットワークコア，加盟校間での連携



② 加盟校相互での連携

研修講師派遣, 先進事例実地調査, 遠隔会議システム等を活用した
情報交換 等

7

3. 平成29年度事業の総括

(1) 事業計画

(計画内容)

1. SPOD共通事業

- ・ SPODフォーラム
- ・ SPOD内講師派遣
- ・ FD/SDに関する調査・研究
- ・ SPOD将来構想, 情報提供サービス など

2. FD事業

- ・ FD担当者研修
- ・ 新任教員研修
- ・ ティーチング・ポートフォリオの実施 など

3. SD事業

- ・ 大学人・社会人としての基礎力養成プログラムの実施
- ・ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施
- ・ 職員のための講師養成講座の実施 など

4. SPOD運営

9

(2) 各事業の取組の成果

① SPODフォーラムの実施

② SPOD内講師派遣プログラムの実施

③ FD/SD調査研究の実施

④ SPOD将来構想

⑤ 情報提供・広報活動

⑥ FD担当者研修の開発・実施

⑦ 新任教員研修の開発・実施

⑧ 教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の実施

⑨ SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施

⑩ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施

⑪ 職員のための講師養成講座の実施

⑫ SPOD-SDC(SDの実践的指導者)の認定

⑬ ネットワークコア運営協議会/県内加盟校会議

10

① SPODフォーラムの実施

- ・スキルアップにつながる実践的なプログラムを集中的に提供
- ・大学等の教職員の能力開発に役立つ多種多様なFD/SDプログラム及び組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供

■ SPODフォーラム2017

【日時】平成29年8月23日(水)～25日(金)

【会場】徳島大学常三島キャンパス

【テーマ】「FeelingとThinkingをLearningにつなげる」

【参加者】405名(延べ1,428名) ※うちSPOD外: 180名

【プログラム数】40プログラム※ポスターセッション除く。

【アンケート結果】回答者の約97%が「満足」と回答

※フォーラム終了3週間後にweb実施



※トップリーダーセミナーを併せて開催

○参加者の約83%が「フォーラムで得た知識やスキルを活用している」と回答

■ SPODフォーラム2018は、香川大学で開催

【全体テーマ】「教職員のミニマムエッセンシャルズを考える」

【日時】H30.8.29(水)～31(金) 【会場】香川大学幸町キャンパス

■持ち回りにより、SPODフォーラム2019は愛媛大学で実施予定

11

② SPOD内講師派遣プログラムの実施

加盟校がSPODに加盟するメリットとして、加盟校単位で希望するプログラムについて、SPODから研修講師を年1回、無料で派遣
※平成29年度は加盟校内の講師12名を22機関に派遣(1法人あたり1回)

■平成29年度SPOD内講師派遣実績

【派遣機関:22機関, 派遣講師:12名, 受講者数:808名】

※徳島文理大学では、他キャンパスへの遠隔配信も同時実施

※四国大学・四国大学短期大学部と徳島工業短期大学では、相互参加を実施

【本事業実施による成果】

・高知工業高等専門学校において

「アクティブラーニング実践(試験紙法)」を実施

→試験紙法を授業に取り入れる教員が出たり、

参加者同士でFDに関する話をする機会が増えたとの報告があった。

・他加盟校からも、「教職協働」のきっかけになった、授業改善が行われた、継続してこのような機会を設けてほしいとの意見が多数寄せられた。



「アクティブラーニング実践(試験紙法)」
(平成29年9月5日 高知工業高等専門学校)

- ・加盟校からの評価が高い。
- ・教育改善や組織への波及効果が示唆される。
- プログラムの見直し等を継続的に行いながら今後も実施予定

12

② SPOD内講師派遣プログラムの実施

プログラム名	日 程	開催校	受講者数			参加校数		満足度
			対面	遠隔	計	対面	遠隔	%
現代学生の理解と関わり方	4月21日(金)	徳島工業短期大学	24	0	24	2	0	95.7
アクティブラーニング実践(試験紙法)	5月30日(火)	新居浜工業高等専門学校	47	0	47	1	0	90.7
現代学生の理解と関わり方	5月30日(火)	香川短期大学	48	0	48	1	0	97.5
職員のための経験学習	6月1日(木)	今治明德短期大学	25	0	25	1	0	100
受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り	6月6日(火)	高知学園短期大学	45	0	45	1	0	100
高専における学生クライシスとの対峙	6月8日(木)	弓削商船高等専門学校	37	0	37	1	0	83.7
現代学生の理解と関わり方	6月8日(木)	松山大学・松山短期大学	69	0	69	2	0	74
アクティブラーニング実践(試験紙法)	6月13日(火)	阿南工業高等専門学校	9	0	9	1	0	100
現代学生の理解と関わり方	6月29日(木)	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	68	0	68	1	0	98.3
大学職員に必要な能力と専門性	7月28日(金)	香川大学	21	0	21	3	0	94.4
アクティブ・ラーニング入門	9月4日(月)	愛媛大学	7	0	7	2	0	100
大学職員に必要な能力と専門性	9月4日(月)	香川県立保健医療大学	32	0	32	1	0	96.4
アクティブラーニング実践(試験紙法)	9月5日(火)	高知工業高等専門学校	21	0	21	1	0	100
大学教職員のための危機管理	9月5日(火)	四国大学・四国大学短期大学部	101	0	101	2	0	100
大学職員に必要な能力と専門性	9月11日(月)	高松大学・高松短期大学	24	0	24	1	0	100
チームビルディング	9月11日(月)	高知県立大学・高知短期大学・高知工科大学	20	0	20	1	0	100
受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り	9月12日(火)	環太平洋大学短期大学部	16	0	16	1	0	100
現代学生の理解と関わり方	9月13日(水)	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	46	28	74	5	1	97.4
教学IR入門	10月25日(水)	高知大学	27	0	27	3	0	100
授業アンケートを見直しませんか？ ～アンケートの効果的実施と活用方法～	12月25日(月)	愛媛県立医療技術大学	36	0	36	1	0	94.1
大学教職員のための危機管理	2月22日(木)	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	46	0	46	1	0	95.1
大人教講義を魅力的にするテクニック	3月9日(金)	徳島大学	11	0	11	1	0	100

13

③ FD／SD調査研究の実施

(1) FD専門部会

- ・新任教員研修における「反転授業」の導入について、徳島大学を中心に調査・研究を実施
- ・検証結果を基に反転授業用テキストを充実させ、次年度に向けてさらなる改善を図る。

(2) SD専門部会

- ・次世代リーダー養成ゼミナールにおいて各ゼミ生が行う「プロジェクト」の実践とその成果物の組織への導入構想に関し、愛媛大学職員(5期生)のプロジェクトを事例として調査研究を実施
→「プロジェクト」成果物を組織へ導入することの現状と課題を検証
- ・大学行政管理学会で成果発表を実施(平成29年9月)
「SD研修での職員によるプロジェクト実践とその成果物の組織への導入構想～SPOD-SD次世代リーダー養成ゼミナールのプロジェクト実践事例から～」

14

④ SPOD将来構想

【本事業の目的】

SPODの今後の取組, 目的等将来構想に関する事項について検討する。

SPODの将来構想(平成28年3月24日SPOD総会決定)

●長期的方針 ※～平成35年度

- 1. SPODという名称は継続的に使用する**
能力開発の地域ネットワークのリーダーとしてプレゼンスを高めていく
- 2. SPODフォーラムを国内最高の教職員研修の機会にする**
既存のFD・SDプログラムをフォーラムに集約する
ポスターセッションなどの相互研修機能を強化する
- 3. SDの取り組みを発展させる**
SD義務化などの政策へ対応する
SDのプログラムおよび教材を開発する
講師派遣事業を行う
- 4. FDの取り組みは焦点化して取り組む**
SPODフォーラムにおいて多様なFDを提供する
各加盟校でのFD担当者の養成を支援する
加盟校で実施するプログラムを公開する
- 5. 持続可能なSPODの組織体制を構築する**
各加盟校のFD, SD戦略に組み込む
長期的にSPODフォーラムの開催校を確定する
安定的な財政基盤を維持する

15

④ SPOD将来構想

SPODの将来構想(平成28年3月24日SPOD総会決定)

●中期的方針 ※～平成29年度

FD・SD共通

- FS-1 SPODフォーラムの開催
- FS-2 コンサルティング・講師派遣事業
- FS-3 FD・SDに関する調査研究
- FS-4 情報提供サービス

FD

- F-1 FD担当者の養成
- F-2 新任教員研修の実施, 公開
- F-3 ティーチングポートフォリオ研修の実施
- F-4 各加盟校におけるプログラムの公開

SD

- S-1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- S-2 次世代リーダー養成プログラムの実施
- S-3 SD講師養成によるSPOD-SDの継続的な実施
- S-4 SPOD-SDCの輩出

S-1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施

- (a) 大学人・社会人としての基礎力養成プログラムの実施
職務遂行力(テクニカルスキル), 人間力(ヒューマンスキル), 管理・運営力(マネジメントスキル), 等を養成するプログラム
- (b) 職務別能力養成プログラムの実施
学務系職員, 社会連携系職員, 国際連携系職員等に
必要な能力を養成するプログラム

S-2 次世代リーダー養成プログラムの実施

次代のトップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な「理論」「技能」「態度」を段階的に学び・修得する140時間を超える総合研修プログラム

S-3 SD講師養成によるSPOD-SDの継続的な実施

自律(立)的運営を目指し, SPOD-SDプログラムにより知識・技能・態度を身につけた職員自らが, 次のSPOD-SDプログラムの講師となるサイクルの確立

S-4 SPOD-SDCの輩出

自大学のSD活動を振り返り, 強みと課題を理解したうえで, 新しい情報や他者からの助言を参考に課題の解決策を見出せるSDの実践的指導者(SDコーディネーター/SDC)の養成

16

④ SPOD将来構想

【中期的方針への対応状況（～平成29年度）】

中期的方針	対応状況
FD・SD 共通	
FS-1 SPODフォーラムの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・SPODフォーラムの四国地区各県持ち回りの決定（平成30年度香川大学開催により、全県開催が実現） 【長期的方針5に対応】 ・ポスターセッションを通じた相互研修を継続的に実施 【長期的方針2に対応】
FS-2 コンサルティング・ 講師派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・SPOD内講師派遣事業(コンサルティング含む)を各加盟校のFD/SD活動への長期的な支援の一環として毎年実施 ・ニーズに沿ったプログラム見直しにより、プログラムの集約・新規開講を実施 【長期的方針3, 4に対応】
FS-3 FD・SDに関する調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ・SPOD事業が加盟校へ及ぼす組織変容やSPOD事業の成果等の調査・研究を行い、学会での発表等を実施
FS-4 情報提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟校教職員の利便性を高め、印刷物の経費を抑制するため、平成30年度に向けた研修プログラムガイド及びSPODホームページの見直しを検討 【長期的方針5に対応】

17

④ SPOD将来構想

【中期的方針への対応状況（～平成29年度）】

中期的方針	対応状況
FD	【主に長期的方針4に対応】
F-1 FD担当者の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学におけるFD担当者への支援を実施するため、「FD担当者研修」をSPODフォーラムに併せて実施
F-2 新任教員研修の実施、公開	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度:新任教員研修の内容を標準化 ・平成28年度:各コア校の新任教員研修資料を共有 →プログラム内容や運営方法を検討 ・平成29年度:反転授業形式の導入(徳島大学)
F-3 ティーチングポートフォリオ研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」を毎年数回実施 ・多くの教員に作成してもらえよう、メンター養成も目的の一つとして実施
F-4 各加盟校におけるプログラムの公開	<ul style="list-style-type: none"> ・「研修プログラムガイド」等を通じて、コア校等で実施する開放プログラムを周知 ・各SPOD加盟校で開講する「講師派遣プログラム」のSPOD加盟校への公開

18

④ SPOD将来構想

【中期的方針への対応状況（～平成29年度）】

中期的方針	対応状況
S D	【主に長期的方針3に対応】
S-1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施	<ul style="list-style-type: none"> ・「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修」の見直し 平成27年度：フレームワーク，科目一覧を作成 平成29年度：アンケートを基に平成30年度開講に向けた見直しを実施
S-2 次世代リーダー養成プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間にわたるプログラムであり，ニーズ等に応じ適宜プログラムの見直しを行いながら，8期目を開講 ・修了者：54名（1～7期生合計） ・平成29年度以降，定員に満たない場合に限り，SPOD加盟校外職員の受け入れを可能とした。
S-3 SD講師養成によるSPOD-SDの継続的な実施	<ul style="list-style-type: none"> ・SPOD-SDプログラムによりSD研修講師に必要な知識・技能・態度を身につけた職員が講師を務めるサイクルを確立 （平成29年度：次世代リーダー養成ゼミナール及び講師養成講座の修了者のうち16名が講師を担当）
S-4 SPOD-SDCの輩出	<ul style="list-style-type: none"> ・資格認定者：19名 ・今後も幅広い加盟校からの輩出を目指す。

19

⑤ 情報提供・広報活動

(1) 研修プログラムガイド2017の発行

SPOD加盟校内で実施されるプログラムを掲載した冊子を作成し加盟校内教職員約7,000名に配付し，情報共有・参加を促す。同内容をホームページにも掲載。



(2) 平成29年度活動報告書の発行

SPOD加盟校内で実施したプログラムの実施内容・効果，各加盟校のFD/SD活動等を掲載した冊子を作成し各加盟校に配付。事業評価委員会の資料としても活用。同内容をホームページにも掲載。



(3) SPODホームページ

SPODフォーラム，SPOD加盟校内の実施プログラム及び活動報告等について掲載し，加盟校内の情報共有を図る。

■SPODホームページカウンタ機能

利用状況を把握するため，平成25年度からSPODホームページにカウンタ機能を導入

閲覧数：56,738件 PDF資料等ダウンロード数：8,102件 ※H29.4.1～H30.3.15現在

（参考：平成28年度 閲覧数：59,440件，PDF資料等ダウンロード数：8,477件）

(4) SPODメールマガジンの発行

SPODフォーラム，SPOD加盟校内の実施プログラムやSPOD加盟校，高等教育に関する情報を提供。登録者約300名（全加盟校SPOD事務担当者を含む。）に対し，月1回程度（今年度は9回）配信。

20

⑤ 情報提供・広報活動

SPODの成果は、全国的にも注目されており、大学行政管理学会や大学教育研究フォーラムなどの各種学会等をはじめ、全国会議や広報誌でもSPODの取組を紹介するなど、広く情報提供・発信を行っている。

(5)各種学会等での事例発表実績

■第21回大学行政管理学会研究集会において事例発表

- ・日 時：平成29年9月3日、場所：西南学院大学
- ・タイトル：「SD研修での職員によるプロジェクト実践とその成果物の組織への導入構想」
- ・発表者：吉田 一恵、秋谷 恵子、渡邊 友樹（愛媛大学）

(6)その他取組の紹介事例

■教育学術新聞（平成29年9月20日付）

- ・SPODフォーラム2017の記事が掲載された。

■熊本県立大学「IR letter 第3号」（平成29年10月）

- ・SPODフォーラム2017参加報告についての記事が掲載された。

■関東学院大学高等教育研究・開発センター「NEWS LETTER Vol.12」（平成29年11月29日）

- ・SPODフォーラム2017参加報告についての記事が掲載された。



※加盟校教職員の利便性を高めるため、平成30年度に向けた
研修プログラムガイド及びSPODホームページの見直しを検討

- ・研修プログラムガイド：冊子からリーフレット版に変更
- ・ホームページ：研修プログラム検索機能の高度化

21

⑥ FD担当者研修の開発・実施

目的：各加盟校のFD担当者としてFDを企画・運営・評価するために必要となる基礎的な知識と技能の習得

実績：SPODフォーラム2017で1回開催（11機関から20名参加）

日時：平成29年8月23日（水）

会場：徳島大学 常三島キャンパス

事後アンケート：参加者全員が「研修は自分の業務に生かせる内容だった」と回答

●受講者は、FDの基礎を再確認し、FD担当者の取り組むべき事項について整理し、具体的事例を知ることができた。

●受講者からは、他大学の取組事例について知ることができたとの声が多数あった。

※ 次年度は、香川大学（SPODフォーラム）で開催予定



22

⑦ 新任教員研修の開発・実施

■新任教員研修

目的：授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループワーク形式で体験し、授業実践のために必要な能力を身につける。

実績：ネットワークコア校(愛媛大学, 徳島大学, 香川大学, 高知大学)

主催で計5回開催し、加盟校22校(延べ)から79名が参加

事後アンケート:参加者の97%から「満足」との回答を得る。

日程	プログラム名	開催校	受講者数			参加校数	満足度(%)
			対面	遠隔	計	対面	
6月17日(土)~18日(日)	授業設計ワークショップ	徳島大学	15	0	15	3	86.7
7月1日(土)~2日(日)	授業デザインワークショップ(28回)	愛媛大学	10	0	10	4	100
8月29日(火)~30日(水)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	14	0	14	3	100
8月30日(水)~9月1日(金)	授業デザインワークショップ(29回)	愛媛大学	21	0	21	5	100
9月14日(木)~15日(金)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	19	0	19	7	100
合計			79	0	79	22	97

●受講者からの声

- ・模擬授業を経験し、自分では気づかなかった点についてアドバイスをいただいたので、その点をぜひ改善したい。
- ・反転授業やアクティブ・ラーニングなど、概念でしか知らなかったことが、今回具体例を通して理解でき、自分の授業へ取り入れることに対するハードルが下がった。
- ・シラバスの書き方について体系的に学ぶことができた。



23

⑧ 教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の実施

■ TP作成ワークショップ

TPの作成及びメンターの養成を目的に3回実施
(加盟校4校から16名参加)

①教員対象

【日時】平成29年7月15日(土)~16日(日)

【会場・受講者数】愛媛大学, 7名

②教員対象

【日時】平成29年9月6日(水)~8日(金)

【会場・受講者数】徳島大学, 2名

③高等専門学校教員対象

【日時】平成29年9月15日(金)~17日(日)

【会場・受講者数】愛媛大学, 7名

※上記のほか、愛媛大学でアカデミック・ポートフォリオ(AP)作成ワークショップを開催(9月15~17日, 1名参加)



●受講者からの声

- ・教育の理念や戦略, 方法などを再確認することができた。
- ・普段は抱えている仕事も多く, じっくり座って一つだけのことを考えることはないので, 自分自身の考えと向き合えたことが良かった。

24

⑨ SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施

■大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ～Ⅲ) (受講者171名)

日 程	プログラム名	開催校	受講者数		参加校数		満足度 (%)
			対面	遠隔	計	対面	
5月10日(水)～12日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ) 第1回[新任職員研修]	愛媛大学	72	0	72	11	100
6月29日(木)～30日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学	34	0	34	13	97
9月20日(水)～21日(木)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)	愛媛大学	20	0	20	7	100
11月9日(木)～10日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ) 第2回	愛媛大学	45	0	45	12	97.8
合 計			171	0	171	43	99



目 的：高等教育機関の職員として一般的に求められている広範な素養を習得する。

実 績：愛媛大学においてレベル別の研修を計4回開催し、加盟校43校(延べ)から171名が参加

事後アンケート：参加者の99%から「満足」との回答を得る。

※次世代リーダーゼミナール修了生や講師養成研修修了者等が「講師」を務めている。

■ニーズの再調査・プログラム改善のため、アンケートを実施

→来年度は、プログラム構成・講義時間を変更して実施する予定

■SPODフォーラム2017において、学務系・社会連携系・国際連携系職員養成プログラム及び経営者・管理者向けプログラム「教育改革を担う教職員のためのリーダーセミナー」を実施

25

⑩ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施

目 的：将来、トップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成する。

実 績：計11名で4回(2年間で8回)のプログラムを実施

受講者：7期生6名, 8期生5名

内 容：「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成される。受講者は、毎回課される課題をこなす必要があり、最終回のプロジェクト発表、口頭試問及びプロジェクト実践レポートの提出を経て修了となる。

・第7期生6名が修了 ※修了生(1～7期生) 合計 54 名

・多数の修了生が「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修」やSPODフォーラム等で講師を務めている。

①第1回 H29. 6. 1～3 【会場】愛媛大学

【講師】山崎その(京都外国語大学)ほか

②第2回 H29. 7. 20～22 【会場】高知大学

【講師】山本眞一(桜美林大学), 中島英博(名古屋大学)ほか

③第3回 H29. 10. 26～28 【会場】香川大学

【講師】橋場論(福岡大学)ほか

④第4回 H30. 1. 18～19 【会場】愛媛大学

【講師】中井俊樹, 清水栄子, 丸山智子, 吉田一恵(愛媛大学)ほか



26

⑩ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施

■ 次世代リーダー養成ゼミナールにおける「プロジェクト」の実践

・多様化する大学等において直面する課題に対し、自大学のミッションを踏まえ、講義や実践・演習で培った知識(理論)・スキル・態度を活用し、「大学の構成員を巻き込むイノベーション」を企画・立案・実施・報告

・プロジェクト紹介(7期生)

障害者就労支援の機能強化 —「就労支援室ウイング」が更に羽ばたけるように—	鳴門教育大学経営企画部企画課 三木 俊介
愛大職員コンピテンシー策定と人事マネジメントシステムへの導入についての考察	愛媛大学総務部人事課 石川 尚
大学職員の能力開発についての一考察 —庶務的な業務の遂行に必要な知識・能力に着目して—	高知大学総務部総務課 井上 慎二
学生のコミュニケーション能力育成の取り組み	徳島文理大学香川キャンパス 入試広報部 板東 博士
職員の意欲向上を目的とした能力開発の取り組み —組織力向上を目指して—	聖カタリナ大学就職課 重松 映美
中途退学抑制に向けた教職協働による学習支援の取り組み —学習面と生活面に関わる支援を通して—	松山大学教務部教務課 杉原 康弘



27

⑪ 職員のための講師養成講座の実施

「職員のための講師養成講座」

目的： 研修プログラムの講師ができる職員の育成
成果： 過去の修了者が「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ)」等の講師を務めている。
日時： 平成29年8月30日(水)～9月1日(金)
会場： 愛媛大学
参加者： 加盟校4校から5名の参加

※教員対象の「授業デザインワークショップ」と一部合同でプログラムを実施

●受講者からの声

- ・研修の進め方の手順を学べた。
- ・少人数で、詳しく教えてもらえた点良かった。
- ・自分に必要なところ、足りないところが明確になった。



28

⑫ SPOD-SDC (SDの実践的指導者) の認定

平成29年度、新たに**2名**の教職員を認定
今年度を含め、**合計19名**のSPOD-SDCを認定

【平成29年度新規認定者】 2名

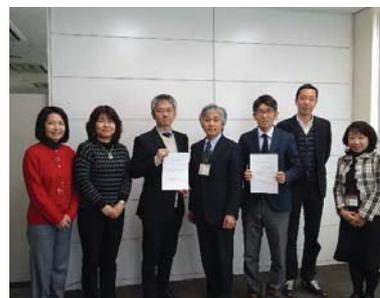
河野 太志 (愛媛大学 教育学生支援部教育企画課 副課長)

大本 盛嗣 (愛媛大学 総務部学長秘書室 チームリーダー)

- ・SPOD-SDC認定者は、学内外の研修の講師を務めるなどSPODや自大学等におけるSD事業の推進に寄与している。
- ・次年度以降も引き続き、幅広い加盟校からのSPOD-SDC輩出を目指す。

SPOD-スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの資格認定基準

1. SPOD-SD(又は自大学におけるSD)講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。



29

⑬ ネットワークコア運営協議会 / 県内加盟校会議

- ・ネットワークコア校が月1回程度、事業の実施、運営上の諸課題等について協議
- ・ネットワークコア校は、ネットワークコア運営協議会の報告や各県内の加盟校のニーズ聴取を目的とした県内加盟校会議を開催

【平成29年度開催実績】

- ネットワークコア運営協議会: 8回開催
6回: 遠隔講義システム
2回: 愛媛大学にて対面開催



- FD/SD専門部会 各3回開催

- 県内加盟校会議
徳島県内加盟校会議1回開催

30

(3) 事業評価

■SPOD事業評価委員会

目的:外部有識者3名の委員がSPOD実施事業に対する評価を行い,その評価結果を基に事業を改善

【委員会委員(平成29年4月1日~平成31年3月31日)】

福島 一政 追手門学院大学 学長代理, 副学長

佐藤 浩章 大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部 准教授

桂 良彦 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事務局長

(敬称略)

平成28年度事業評価委員会委員からの指摘を受け,「SPOD事業評価の在り方」について平成29年度から見直しを行った。

- ・各委員がより深くSPOD事業について把握できるよう,
SPOD事業視察の場を提供
- ・任期1年目:各委員の立場から書面で意見をいただく。
- ・任期2年目:視察等を踏まえた対面による事業評価を実施

31

(4) 総括

■平成29年度事業

- ・計画どおり順調に進展
- ・SPOD将来構想を実現するための体制を整備

SPODは,平成30年に

設立10周年を迎えます。



- ・SPOD提供プログラム受講者数
延べ**20,000人以上**

32

**加盟校の連携により、様々な成果を上げ、
10周年を迎えることができました。
厚く御礼申し上げます。
今後も引き続き、SPOD事業に対して
ご協力をよろしくお願いいたします。**



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

SPOD = shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 (一部改正案)

〔平成 20 年 10 月 18 日
制 定〕

(名称)

第1条 本会は、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education。以下「SPOD」という。）と称する。

(目的)

第2条 SPODは、四国地区の大学（四国地区に一部の学部等を置く大学を含む。）及び高等専門学校（以下「大学等」という。）の連携・協働により、地区内のFD/SD事業の推進と大学等の教育力の向上を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 SPODは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) FD/SDプログラム等の調査研究及び開発
- (2) FD/SDプログラム等の共同実施及び共同利用
- (3) FDe r（ファカルティ・ディベロッパー）及びSDC（スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター）の養成
- (4) 参加大学等間における職員派遣等による交流
- (5) その他SPODの目的を達成するために必要な活動

(加盟校)

第4条 SPODは、別表第1に定める加盟校をもって構成する。

2 四国地区の大学等で、SPODの目的及び事業に賛同するものは、第9条に定める総会の承認を経て、新たにSPOD加盟校となることができる。ただし、その大学等の所在する県のコア校の承認を得なければならない四国地区に一部の学部等を置く大学については、当該学部等单位で加盟するものとする。

3 SPODを退会する場合には、会長総会の承認を得なければならない。ただし、原則として退会する3ヶ月前までに会長に申し出るものとする。

(コア校)

第5条 加盟校のうち、別表第2に定める大学をコア校とする。

2 コア校は、共同でネットワークコアを形成して、第3条各号の事業を企画立案、実施するほか、各県内の加盟校からの意見の集約及び調整等を行う。

(その他の加盟校)

第6条 加盟校のうち、前条のコア校以外の大学等は、ネットワークコアの依頼に応じて、第3条各号の事業に参加する。

(代表校)

第7条 コア校のうち、1校をSPODの代表校とする。

- 2 代表校は、コア校の互選により選出する。
- 3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

(会長、副会長、監事及び企画・実施統括者)

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

- 3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。
- 4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。
- 5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 6 会長は、SPODを代表する。
- 7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 8 監事は、会計を監査する。
- 9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。
- 10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。
(総会)

第9条 SPODに、総会を置く。

- 2 総会は、加盟校をもって構成し、代表校が招集する。
- 3 総会の議長は、会長が務める。
- 4 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。
- 5 加盟校は、当該加盟校を代表して総会に出席する者1名(以下「代表者」という。)を、事前に登録しなければならない。ただし、加盟校に所属する他の者が、事前に登録した者を代理し、又は総会に陪席することを妨げない。
- 6 総会は、次の事項を審議する。
 - (1) SPODの活動方針及び活動報告に関すること。
 - (2) SPODの規約に関すること。ただし、別表を除く。
 - (3) SPODの加盟及び退会に関すること。
 - ~~(3-4)~~ 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の選出に関すること。
 - ~~(4-5)~~ SPOD事業契約の役割分担に関すること。
 - ~~(5-6)~~ SPODの予算及び決算に関すること。
 - ~~(6-7)~~ その他全加盟校による審議が望ましい事項
- 7 総会は、加盟校の過半数が出席しなければ、開会することができない。ただし、加盟校は、審議事項があらかじめ決定している場合においては、事前の意見提出をもって出席に代えることができる。
- 8 総会の議事は、出席の加盟校の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
(ネットワークコア運営協議会)

第10条 SPODに、ネットワークコア運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、コア校をもって構成し、原則として月1回開催する。
- 3 協議会の議長は、企画・実施統括者が務める。
- 4 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。
- 5 協議会は、次の事項を協議する。
 - (1) SPODの活動に係る企画立案及び実施に関すること。
 - (2) SPODの行う研究開発、人材育成等に関すること。
 - (3) その他SPODに係る重要な事項
- 6 協議会における協議概要及び配付資料は、原則として加盟校に配付する。
(事業評価委員会)

第11条 SPODに、協議会が作成した実績報告書を基に事業評価を行う事業評価委員会(以下、「委員会」という。)を置く。

- 2 委員会に関し必要な事項は、別に定める。
(事務局)

第12条 SPODの事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

(会計)

第13条 SPODの事業経費は、加盟校からのネットワーク年会費及びその他収入をもって充てる。

2 監事は年1回の監査を行う。

(その他)

第14条 本規約に定めるもののほか、SPODの運営に関し必要な事項は、総会又は協議会が別に定める。

附 則

1 この規約は、平成20年10月18日から施行する。

2 この規約の施行後、最初に任命される第7条第1項の代表校の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

3 別表は、新たな加盟校があった場合等に適宜改訂を行うものとする。

附 則

この規約は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成 年 月 日から施行する。

徳島大学
鳴門教育大学
香川大学
愛媛大学
高知大学
香川県立保健医療大学
愛媛県立医療技術大学
高知県立大学
高知工科大学
四国大学
徳島文理大学
高松大学
聖カタリナ大学
松山大学
松山東雲女子大学
高知短期大学
四国大学短期大学部
徳島工業短期大学
徳島文理大学短期大学部
香川短期大学
高松短期大学
今治明德短期大学
環太平洋大学短期大学部
聖カタリナ大学短期大学部
松山東雲短期大学
松山短期大学
高知学園短期大学
阿南工業高等専門学校
香川高等専門学校
新居浜工業高等専門学校
弓削商船高等専門学校
高知工業高等専門学校

別表第2 コア校

徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

平成30年4月1日現在

別表第1 加盟校

徳島大学
鳴門教育大学
香川大学
愛媛大学
高知大学
香川県立保健医療大学
愛媛県立医療技術大学
高知県立大学
高知工科大学
四国大学
徳島文理大学
高松大学
聖カタリナ大学
松山大学
松山東雲女子大学
高知短期大学
四国大学短期大学部
徳島工業短期大学
徳島文理大学短期大学部
香川短期大学
高松短期大学
今治明德短期大学
環太平洋大学短期大学部
聖カタリナ大学短期大学部
松山東雲短期大学
松山短期大学
高知学園短期大学
岡山理科大学獣医学部
人間環境大学松山看護学部
阿南工業高等専門学校
香川高等専門学校
新居浜工業高等専門学校
弓削商船高等専門学校
高知工業高等専門学校

別表第2 コア校

徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約(抄)

附 則

- 1 この規約は、平成20年10月18日から施行する。
- 2 この規約の施行後、最初に任命される第7条第1項の代表校の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。
- 3 別表は、新たな加盟校があった場合等に適宜改訂を行うものとする。

共同事業契約の終了及び再締結の合意について（案）

平成30年3月29日
ネットワーク総会決定

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第4条第2項に基づき平成30年4月1日付けで学校法人加計学園（岡山理科大学獣医学部）及び学校法人河原学園（人間環境大学松山看護学部）が四国地区大学教職員能力開発ネットワークに加盟するため、平成24年4月1日付けで締結した共同事業契約は、平成30年3月31日をもって終了とし、平成30年4月1日付けで共同事業契約を再締結するものとする。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」の役員の改選について（案）

平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の実施にあたって、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（以下「規約」という。）第8条第1項、第3項、第5項、第7項及び第10項に基づき、高知大学長改選に伴い、平成30年度副会長（高知大学長）の改選を行う。任期については、前任者の残任期間である平成31年3月31日までとする。

また、規約第8条第1項、第4項、第5項、第8項及び第10項に基づき、徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部学長改選に伴い、平成30年度監事の改選を行う。任期については、前任者の残任期間である平成31年3月31日までとする。

副会長（規約第8条第1項、第3項、第5項、第7項及び第10項関係）

高知大学 櫻井 克年 次期学長（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

高知大学 脇口 宏 学長（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

監事（規約第8条第1項、第4項、第5項、第8項及び第10項関係）

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 田村 禎通 次期学長

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 桐野 豊 学長

（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

【参考】「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（抄）

（代表校）

第7条 コア校※のうち、1校をSPODの代表校とする。

2 代表校は、コア校の互選により選出する。

3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。

4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。

5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

6 会長は、SPODを代表する。

7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

8 監事は、会計を監査する。

9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。

10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

（事務局）

第12条 SPODの事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

※コア校とは、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学を指す。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿（案）

任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日

※副会長（香川大学長）任期：平成29年10月1日～平成31年3月31日
 ※副会長（高知大学長）任期：平成30年4月1日～平成31年3月31日
 ※監事任期：平成30年4月1日～平成31年3月31日

(平成30年4月1日現在)

会 長	大橋 裕一	愛媛大学長
副 会 長	野地 澄晴	徳島大学長
副 会 長	笥 善行※	香川大学長
副 会 長	櫻井 克年※	高知大学長
監 事	田村 禎通※	徳島文理大学・ 徳島文理大学短期大学部学長
監 事	濱中 俊一	高知工業高等専門学校長
企画・実施統括者	小林 直人	愛媛大学学長特別補佐 教育・学生支援機構 教育企画室長

平成30年度SPOD事業計画（案）

1. SPOD共通事業

- ・ SPODフォーラム
平成30年8月29日（水）～31日（金）（3日間）
開催場所：香川大学
「全体テーマ：教職員のミニマムエッセンシャルズを考える」
トップリーダーセミナーを併せて開催
- ・ SPOD内講師派遣（加盟校単位 各1回 計24回） 開催場所：各加盟校
原則として、1法人あたり1回とする。ただし、高等専門学校については、1校あたり1回とする。
- ・ FD・SDに関する調査研究
- ・ SPOD将来構想ワーキンググループ
- ・ 情報提供サービス
 - ①研修プログラムガイド2018の発行（年1回、リーフレット*及びホームページ掲載）
 - ②平成30年度SPOD活動報告書の発行（年1回、冊子及びホームページ掲載）
 - ③SPODホームページの管理・更新
 - ④SPODメールマガジンの発行（月1回程度）
- ・ その他コア運営協議会で承認された事業、プログラム等

※ホームページのイベント検索機能を強化して利便性を高める一方、印刷物の経費を抑制するため、リーフレット化を実施

2. FD事業

- ・ FD担当者研修 開催場所：香川大学
SPODフォーラム2018において開催
- ・ 新任教員研修（年5回）の実施・公開 開催場所：各コア校（愛媛大学は2回実施）
- ・ ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ（年2回）の公開・実施
 - ①全加盟校教員対象（年1回）
開催場所：徳島大学
 - ②高専対象（年1回）
開催場所：愛媛大学
- ・ 各種FDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2018に掲載したプログラム

3. SD事業

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年4回）
開催場所：徳島大学，愛媛大学
レベルⅠ（新任職員研修） 1回（徳島大学）
レベルⅠ 1回（愛媛大学）
レベルⅡ 1回（愛媛大学）
レベルⅢ 1回（愛媛大学）
主担当：SPOD事務局 協力校：徳島大学，愛媛大学
- ・職務別能力開発研修（年5回）
SPODフォーラム2018等において開催
主担当：SPOD事務局 協力校：香川大学
- ・次世代リーダー養成ゼミナール（年4回）
開催場所：愛媛県，徳島県，高知県
主担当：SPOD事務局 協力校：各コア校
- ・職員のための講師養成講座（年1回）開催場所：愛媛大学
新任教員研修（愛媛大学）プログラムの一部受講等により実施予定
主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・各種SDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2018に掲載したプログラム

4. SPOD運営

- ①総会（年1回）
- ②ネットワークコア運営協議会（月1回程度）
- ③事業評価委員会（年1回）
- ④監査（年1回）
- ⑤その他
 - i. FD／SD分科会
 - ・FD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ・SD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ii. SPOD加盟校県内会議 四国各県において必要に応じて実施

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク臨時総会（紙上）議事概要

- 1 期 間：平成29年9月8日（金）～9月22日（金）
- 2 場 所：紙上
- 3 議 長：国立大学法人愛媛大学長 大橋 裕一
- 4 出席者：32名
- 5 議 題

(1) 副会長の選出について

四国地区大学教職員能力開発ネットワークの副会長である香川大学の長尾省吾氏が、香川大学長改選に伴い、平成29年9月30日付けで香川大学長の任期を満了されることとなった。

これに伴う後任の副会長として、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（以下「規約」という。）第8条第3項の規定に基づき、次期香川大学長の筧善行氏が推薦され、紙上による臨時総会を開催した結果、承認32名、不承認0名で、同人が副会長として承認された。

なお、任期は、規約第8条第10項の規定により、前任者の残任期間とし、平成29年10月1日から平成31年3月31日までとなる。

【参考】「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（抄）

（代表校）

第7条 コア校※のうち、1校をSPODの代表校とする。

2 代表校は、コア校の互選により選出する。

3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。

4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。

5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

6 会長は、SPODを代表する。

7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

8 監事は、会計を監査する。

9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。

10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

（総会）

第9条 SPODに、総会を置く。

2 総会は、加盟校をもって構成し、代表校が招集する。

3 総会の議長は、会長が務める。

4 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。

5 加盟校は、当該加盟校を代表して総会に出席する者1名（以下「代表者」という。）を、事前に登録しなければならない。ただし、加盟校に所属する他の者が、事前に登録した者を代理し、又は総会に陪席することを妨げない。

6 総会は、次の事項を審議する。

（1）SPODの活動方針及び活動報告に関すること。

（2）SPODの規約に関すること。ただし、別表を除く。

（3）会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の選出に関すること。

（4）SPOD事業契約の役割分担に関すること。

（5）SPODの予算及び決算に関すること。

（6）その他全加盟校による審議が望ましい事項

7 総会は、加盟校の過半数が出席しなければ、開会することができない。ただし、加盟校は、審議事項があらかじめ決定している場合においては、事前の意見提出をもって出席に代えることができる。

8 総会の議事は、出席の加盟校の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

※コア校とは、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学を指す。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿

任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日

※副会長（香川大学長）任期：平成29年10月1日～平成31年3月31日

(平成29年10月1日現在)

会 長	大 橋 裕 一	愛媛大学長
副 会 長	野 地 澄 晴	徳島大学長
副 会 長	笥 善 行 ※	香川大学長
副 会 長	脇 口 宏	高知大学長
監 事	桐 野 豊	徳島文理大学・ 徳島文理大学短期大学部学長
監 事	濱 中 俊 一	高知工業高等専門学校長
企画・実施統括者	小 林 直 人	愛媛大学学長特別補佐 教育・学生支援機構 教育企画室長

各加盟校におけるFD／SD活動の取組報告

平成29年度四国地区大学教職員能力開発ネットワーク活動報告書
 (66ページ～91ページ) により報告

平成29年度四国地区大学教職員能力開発ネットワーク活動報告書
 6. 平成29年度各加盟校の取組報告 目次

徳島県

徳島大学（国）	66
鳴門教育大学（国）	67
四国大学・四国大学短期大学部（私）	68
徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部（私）	69
徳島工業短期大学（私）	70
阿南工業高等専門学校（国）	71

香川県

香川大学（国）	72
香川県立保健医療大学（公）	73
高松大学・高松短期大学（私）	74
香川短期大学（私）	75
香川高等専門学校（国）	76

愛媛県

愛媛大学（国）	77
愛媛県立医療技術大学（公）	78
聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部（私）	79-80
松山大学・松山短期大学（私）	81
松山東雲女子大学・松山東雲短期大学（私）	82
今治明德短期大学（私）	83
環太平洋大学短期大学部（私）	84
新居浜工業高等専門学校（国）	85
弓削商船高等専門学校（国）	86

高知県

高知大学（国）	87
高知県立大学・高知短期大学（公）	88
高知工科大学（公）	89
高知学園短期大学（私）	90
高知工業高等専門学校（国）	91

